



絵本「あいたいな」は、緊急事態宣言が発令された状況の中で作った絵本です。

外出自粛要請のため、どこへも行くことができず、家で一人きりで過ごさなければならぬ毎日が続き、不安とさみしさで疲弊していた日々の中、ふとある時、姪からの手紙が目にとまりました。（あのこは今何をしているかなあ・・・、お母さんに怒られてないかなあ・・・）頭の中に、姪がいたずらしているところ、怒られて泣いているところ、思いっきり笑っているところ・・・、次々に彼女のいろんな表情のイメージが、泡のように浮かんできます。私は思わず笑みがこぼれました。その時、はっとしました。自分の心の中に降っていた雨がいつのまにかあがっていて、晴れた空のようにあたたかく、心地いい気持ちに包まれていたのです。

誰かと会えるのが当たり前だった毎日が、ある日突然変わってしまった。当たり前だったことが、当たり前ではなくなりました。こんなに切実に、「あいたい」と感じたことは、今までになかったように思います。今、感じているこの気持ちを、今、形にしなきゃ。今、この状況だからこそ、作らなきゃ。そう感じ、私は「あいたい」気持ちを、今感じている気持ちそのままを、“絵本”という形を借りて表しました。

最初は姪へ向けて私家版で作った絵本だったのですが、ご縁があって、ひだまり舎の中村さんにお声がけいただき、このように出版させていただく運びとなりました。

この絵本「あいたいな」が、“あえない誰か”に“あいたい誰か”の気持ちに、なんとなく寄り添えるような、そんな存在になってくれたらいいなと思います。

阿部結